平成２９年１１月２８日

平成２９年度研究紀要原稿書式について

　ここで示している書式は、昨年度本県で行いました、第５５回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会埼玉大会大会要録執筆書式（H28.7.31版）と基本的に同一ですが、一部訂正を行っています。各分科会で、原稿とイメージ図を紀要原稿としてご提出ください。

１．書式について

(1)用紙について　　Ａ４版縦　横書き　２段組　３〜４ページ（イメージ図で別に１ページとします。）

(2)１ページ文字数　10.5ポイント　23字×42行×２段組　1932字　明朝体

(3)余白　　　　　　上端20mm　下端25mm　左右端16mm　中央(段間)７mmを目安

２．原稿の書き方について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　1

※１行分空ける

主題（２０ポイントゴシック体太字）

− 副主題（１５ポイントゴシック体太字） −

※１行分空ける

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　2

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　3

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　4

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　5

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　6

　　　　　　　　　　　　　　　(11ポイントゴシック体標準)○○県○○○○技術・家庭科研究会　 　　　7

　　　　　　　　　　　　　　　(11ポイントゴシック体標準)○○○立○○○中学校　教諭　氏　　名　　 8

※ １行分空ける　　 　※ MSゴシック体太字　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　9

【注意事項】

１ **◎ ○ ○ ○ ○ ○** 　※ 半角空ける　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　10

・番号，記号と表題（題目）の文字は，

ＭＳゴシック体で太字とする。

・番号，記号は１２…,(1)(2)…,①②…,アイ…,(ｱ)(ｲ)…の順で文頭(図中:●)， 次行は左図を参照。

・１①アは全角，(1)(ｱ)は半角文字。

・１①アの次は全角，(1)(ｱ)の次は半角

の空白にする。

・①の前は1字分空けない。

・箇条書きは文頭に・を用いる。

・句読点は［，］［。］を用いる。

※レイアウトは別紙参照

●○○○○○○○○○○○○○，○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○。

(1) **◎○○○○○**

●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱○○○○○

**①**　**◎○○○○○**

●○○○○○○○○，○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○。

ア　**◎○○○○○**

●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○。

(ｱ) ◎○○○○○

●○○○○○○○○，○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○。

(1)１ページ目は主題・副主題で６行使い，７行目に所属，８行目に学校名・氏名を書いてください。（罫線の囲みは６行分に含めてください）１行分空けて，本文は10行目から書き始めてください。

(2) 文体は常体「・・・である。」としてください。

(3) 図，表，写真がある場合は，あらかじめデジタル化して，原稿の中に貼付けておいてください。

（写真は４枚まで，図や表は自由とします。）

（印刷業者に渡すとき、原稿と写真のデータが別の方がよいので、写真データも別にお送りください。）

(4) 番号・記号と表題（題目）のは，文字をＭＳゴシック体で太字としてください。

（番号・記号は１２…，(1)(2)…，①②…，アイ…，(ｱ)(ｲ)…の順にしてください）

(5) １，２，３…の項目は１行分を空けて書き始めてください。

(6) その他の文字はＭＳ明朝体（標準）とし， 字体・大きさなどの装飾はしないでください。

~~(7) 別刷りで、各分科会毎に「問題解決のための具体的な方策」を入れること~~

３．提出物（「原稿集約上の注意点について」参照）

(1) 原稿（Ａ４用紙にプリントアウトしたもの。レイアウト確認に必要となります。）

(2) 原稿データ（ 一太郎若しくはWord形式で作成したもの）

※　メール添付による提出の場合

データの容量にご留意ください。写真データ（鮮明な写真など容量の大きいもの）は、これらとは別に、記録媒体で提出してください。

※　記録体媒(ＣＤ,ＵＳＢ等)による提出の場合（ただし、記録媒体の返却はできかねます。ご了承ください。）

ラベル等に作成ソフト名・バージョンと分科会名を明記してください。

４．原稿集約上の注意点について

せっかく作成していただいた原稿・データを有効に利用させていただくためにも，以下の点について，留意していただきますようにお願いいたします。

原稿について

●　文章，写真，表などのデータについて

①　図，表，写真などがある場合は，あらかじめデジタル化して，原稿の中に貼り付けて保存してください。（写真は４枚まで，図や表は自由です）

・図， 表， 写真の元データもファイル名を付けて保存してください。

②　原稿を保存した記録媒体(ＣＤ,ＵＳＢ等)だけでなく，必ず出力された用紙を付けて提出してください。（記録媒体の返却はできかねます）

③　記録媒体のラベル等に作成したソフト名とバージョンを明記してください。

（Word200○ 一太郎○○ 等）

・バージョンが違うと文字の微妙な送りが違い，体裁が崩れてしまいます。

・特殊な書体を使っている場合，「文字化け」が起こります。

●　デジタルカメラ画像について

①　解像度について

・モノクロの場合１００万画素以上，カラーの場合は２００万画素以上の解像度のカメラを使用してください。

②　保存形式について

・［jpg］ 形式で保存してください。

※印刷の場合は，きめが細かいため，荒い画像で保存するとモザイク状態となってしまいます。

※ホームページから採った画像（ gif・jpg ）で，サイズが小さいものは印刷品質が劣化するため使用できません。

●　著作権，個人情報について

①　生徒の作品や感想などを使う場合は，必ず本人や保護者の承諾を得てください。

②　漫画やアニメ等のキャラクタ，有名人の肖像など使う場合は，必ず著作権者に承諾を得て

ください。

③　引用する場合は出典を明記してください。

④　個人が判別できる画像や情報はできるだけ使用しないでください。

・もし使用する場合は，必ず本人や保護者の承諾を得てください。

・写真に生徒の名札等が写り込まないように留意してください。

５．原稿執筆上の注意【第４５回埼玉大会研究の手引きＮＯ．３より一部引用】

以下の事項を心がけるようにしてください。

**ア　文は短くする**

　　特別な場合を除き、文はできるだけ短くします。一般的に、一つの文の長さは、平均40～50字位が読みやすいといわれています。また、「、」は一行に１～２つ程度が読みやすい文になります。

**イ　箇条書きにする**

　　内容に応じてできるだけ箇条書きの方法を取り入れます。箇条書きにする場合の注意事項は、次のとおりです。

(ｱ)　必要な事項を書き落とさないようにする。

(ｲ)　各箇条の順序を工夫し、前後のつじつまが合うようにする。

(ｳ)　できるだけ短い文にまとめる。

(ｴ)　各箇条に番号や符号を付ける。

**ウ　主語と述語の関係を整える**

　　文章は、主語と述語の対応関係をはっきりさせることが大切です。

例　調査は、生徒を対象に、工具の使用経験の実態に関することだ。

　　→調査は、生徒を対象に、工具の使用経験の実態について行なわれた。

　　また、一つの文に、二つの主語を置かないようにします。

例　本校は、駅周辺の開発に伴い、生徒数は年々増加している。

　　→本校では、駅周辺の開発に伴い、生徒数が年々増加している。

**エ　並列の関係を整える**

　　二つ以上の語句が同じ資格で並んでいることを並列の関係といいます。この並列の関係を整えないと、わかりにくい文になったり、書き手の意図が正しく伝わらない文になったりします。

　　並列の関係には、次の２通りの場合場あります。

**(ｱ)　体言型あるいは用言型のどちらかに統一する場合**

例　歌ったり、踊りを楽しんだ。

　　　→歌ったり、踊ったりして楽しんだ。（用言型）

　　　→歌や踊りを楽しんだ。（体言型）

**(ｲ)　意味上の並列を整える場合**

例　技術・家庭科のねらいは、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成を目指して、生徒が生活を自立して営めるようにするとともに、自分なりの工夫を生かして生活を営むことや、学習したことがらを進んで生活の場で活用する能力や態度を育成することである。

**オ　簡潔な文章にする**

　　不必要な修飾語や、あいまいな言葉、回りくどい表現はやめて、論理的な文章にします。

(ｱ)　時や場所の起点を示す場合は、「から」を用います。「より」は、比較を示す場合にだけ用います。

例　（から）　午前10時から会議を始める。深谷から川口まで。

　　　　（より）　君は、僕より背が高い。今日は、昨日より寒い。

(ｲ)　推量を表わすには「であろう」を用います。「う・よう」は、意思を表わす場合にだけ用います。

例　（推量）　役に立つであろう。そのように思われるであろうか。

　　　　（意志）　対等の関係に立とうとする。思われようとして・・・

(ｳ)　並列の「と」は、紛らわしいときには最後の語句の後にも付けます。

例　草加市と東京都の北部との境界

(ｴ)　「ならば」の「ば」は略しません。

**カ　結論を先に書く**

　　結論はできるだけ早く示し、説明部分などはその後へ要領よくまとめます。

**キ　見出しを付ける**

　　文章のまとまりごとにその内容を的確に表わした見出しを付けると、読み手の理解を助けます。

**ク　図表に解説を付ける**

　　図や表を示した場合には、必ず本文中に説明を付けます。

**ケ　著作権、個人情報に配慮する**

1. 生徒の作品や感想などを使う場合には、必ず本人や保護者の承諾を得てください。
2. マンガやアニメ等のキャラクタ、有名人の肖像などを使う場合には、必ず著作権者に承諾を得てください。
3. 引用する場合は出典を明記してください。
4. 個人が判別できる画像や情報はできるだけ使用しないでください。もし、使用する場合は、必ず本人や保護者の承諾を得てください。（写真に生徒の名札等が写り込まないように留意する。）

**コ　論文（案）作成後に入念な検討を行なう**

1. 文案の内容、形式などについて、複数の人が見直してください。
2. 各分科会の指導者に文案を検討して頂き、指導を受けてください。
3. 余裕がある場合は、時間をおいて見直してください。

**◆　論文の構成と原稿執筆のポイント**

**１　はじめに**

本研究の重要性を読者に訴え、本論へ導けるように執筆してください。

〔記述内容〕

* + 社会の現状や生徒の実態を説明し、研究の意義を論じる。（研究主題を設定した理由や背景）
  + 研究主題、副主題にかかわる先行研究やこれまでの研究の流れを説明し、なぜこの主題について研究する必要があるのかを論じる。

**２　研究仮説**

　本研究の目指すところ（目的）を具体的に提示し定義づけてください。

〔記述内容〕

* + これまでの先行研究・実態調査等の結果に基づき仮説を具体的に提示する。
  + 仮説の中に記述された重要用語（キーワード）を定義する。

**３　研究の内容**

　仮説検証のための研究方法（具体的に何をしたのか）について具体的に示し、その結果を客観的に提示してください。

　〔記述内容〕

* + 指導計画や題材及び指導方法の工夫について実践例を具体的に提示する。
  + 評価活動の工夫について実践例を具体的に提示する。
  + 授業実践資料などを具体的に提示する。
  + 指導計画に基づき実践した結果を客観的かつ理解しやすく提示する。（アンケート調査や授業分析から得られたデータを統計処理し、客観的かつ理解しやすく提示する。）

**４　研究の成果と課題【重要】**

　　本研究で設定した仮説が実証できたかどうかについて**考察してください。**

　　〔記述内容〕

* + 実践を分析した結果から解明できたことや検証できたことを明らかにする。
  + 考察の結果から本研究の限界を明記するとともに、今後の研究の方向性・可能性を述べる。

**５　おわりに**

　「はじめに」を受けて「おわりに」をまとめてください。

６．提出締切　平成３０年２月２０日（火）厳守

７．送付先及び問い合わせ先

さいたま市立大宮西中学校

教諭　宮内　智

〒331-0052　埼玉県さいたま市西区三橋6-1558

TEL:048-624-4339　FAX:048-624-2132

　　 080-7025-9287

E-mail : myuc.mobile@gmail.com

|  |  |
| --- | --- |
| １  ２  ３  ４  ５  ６  ７  ８  ９  10  11  12  13  14  15  16  17  18  19  20  21  22 | (■は全角の空白、\*は半角の空白、○は文字）  20㎜  **第１分科会■材料と加工**  ※１行分空ける  主題（２０ポイントゴシック体太字）  − 副主題（１５ポイントゴシック体太字） −  ※１行分空ける    ここで「研究の迫り方」について「イメージ図」を用いて説明する。  埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会  　　　○○○○立○○○中学校■教諭■○○■○○○  **１■はじめに**  　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　○○○○○○○○○。  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○　　**３■研究内容**  　　　　　○  18㎜  18㎜  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■**(1)**\***指導計画の工夫**  ○○○○○○○○○○○○。　 　　　　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　■○○○○○○○○。  ■**(2)\*指導方法の工夫**  **２■研究仮説**  　　　　　■■ア■○○○○○○○○  ■　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　　■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　　　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒　　①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒

|  |  |
| --- | --- |
| 41  42  43  44 | ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■**(3)**\***評価の工夫**  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■ア■○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○。　 　　　　　■■■(ｱ)\*○○○○○○○○○  しか■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○  25㎜ |

※「はじめに」には、関ブロの検証としての研究ですので、過年度の「成果と課題」を踏まえて研究主題、仮説等を設定して下さい。

　「研究内容」では、昨年度と文書の構造や項目が同一となるはずですので、ご注意下さい。

**【２～４ページ目】**

|  |  |
| --- | --- |
| １  ２  ３  ４  ５  ６  ７  ８  ９  10  11  12  13  14  15  16  17  18  19  20  21  22  23  24  25  26  27  28 | (■は全角の空白、\*は半角の空白、○は文字）  20㎜  **■■■**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■**(4)**\***○○○○○○○○○○○○**  ■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■■(ｲ)\*○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○。  **■■■■**○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  **表１　○○○○○○○**　　　　　　　　　■**(5)**\***○○○○○○○○○○○○**  　　■■ア　○○○○○○○○○○○○○○○○  図、表、写真はデジタル化して原稿の中に貼り付けてください。  ※　元データも添付ファイルにして送付してください。  　　■■■①　○○○○○○○○○○○○○○○○。  ら１■■■②　○○○○○○○○○○○○○○○○。  18㎜  　　■■■③　○○○○○○○○○○○○○○○○○  　　■■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○。  　　■■■④　○○○○○○○○○○○○○○○。  ■■イ　○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■■(ｳ)\*○○○○○○○○○　　■■■・　○○○○○○○○○。  **■■■■**○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■■・　○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　■■■・　○○○○○○○○○○○○○○○。  《段組にまたがる図表を挿入する場合》  ※　文章のつながりは図表を飛び越えないでください。  ※　図表までの文章は左段の内容から右段の内容に続くようにしてください。  ※　図表以下の文章も左段の内容から右段の内容に続くようにしてください。  18㎜  18㎜  **図１　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○**  ■**(6)**\***○○○○○○○○○○○○**■　　　　　　　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳　　①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

7㎜

|  |  |
| --- | --- |
| 35  36  37  38  39  40  41  42  43  44 | ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　■■エ　○○○○○○○○○○○○○○○○  **４■研究の成果と課題**　　■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■**(1)**\***研究の成果**　　　　　　　　　　　　　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　　**５■おわりに**  ■■・　○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■・　○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　　■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○。　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  18㎜  18㎜  ■■・　○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ■■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  25㎜ |